



2019年3月13日

玩具から考える時代の変化

特別展「子ども／おもちゃの博覧会」

2019年3月21日(木・祝)～5月28日(火)

The poster features a central title in large red characters: [特別展] 子ども／おもちゃ の博覧会. Above the title is a grid of various vintage toys. To the right, there's a vertical column of text: SPECIAL EXHIBITION: TOYS EXPO—CHILDREN IN MODERN JAPAN. Below the title, there's information about free shuttle buses and exhibition hours. At the bottom, it says 2019.3.21 | 木・祝 | – 5.28 | 火 |.

〒585-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10番1号
Tel: 06-6876-2151 (代) Fax: 06-6876-0401 http://www.mnpaku.ac.jp/

開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで） 休館日：水曜日（ただし、5月1日（水・祝）は開館）

観覧料：一般 420円（300円） 高校・大学生 250円（200円） 中学生以下無料

※（1）20名以上の団体料金、大学等の団体でご利用の方、複数ヒート券の作品を目的とする高校生、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金（要証明書持） 大学生、専修学校の場合は、年齢がいきなり低い方または付添者）名などに、限りで販売できます。※障害者優待料金は、障害生徒無料で観覧できます。自然文化園（中央口、西口、北口）入場料にて適用料金がけ引きとなります。料金は現金で支払われます。

主催：国立民族学博物館 企画協力：一般財団法人日本伝文化財団 協力：大妻女子大学、一般財団法人千里万博記念財団、将崎地信環境学研究会

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園 10-1)では、特別展「子ども／おもちゃの博覧会」を、2019年3月21日(木・祝)から開催します。

日本の社会は、明治の海外からの技術や知識の伝来や、国家による軍隊や学校などの制度の施行、昭和の第二次世界大戦の敗戦などによって大きな変化をこなす、その時々の子どものありようや人びとの子ども観に影響を与えてきました。本展では、江戸時代から戦後のさまざまな玩具をつうじ、子どもや子どもをめぐる社会の変遷とその意味を探ります。



自動車

展示の見どころ

1.日本の玩具が大集合！

本展では、教育玩具から戦後登場したテレビ番組のキャラクター玩具まで、明治時代から1970年代の日本の玩具が一堂に会して展示されます。懐かしいものや今見ると新鮮なもの、さまざまな玩具の中から、お気に入りの一品を見つけてみてください。



2.社会の変遷とともに変化する玩具を紹介

富国強兵の政策のなかでの戦争を題材にした玩具の登場や、高度経済成長以降の新しい工業・科学技術を反映した玩具など、世相や流行の変遷とともに玩具も変化し、子どもたちの遊びにも影響を与えてきました。本展では、そうした変化を概観し、玩具と時代と子どものかかわりを紹介します。

3.これからの子どもたちの姿とは？

最後のセクション「遊び続ける子どもたち」では、あえて玩具を展示せず、メッセージカードや伝言板を設置しています。玩具への思いや、展示をご覧になった感想、また新たに思いついた遊びなど、思い思いのメッセージを書き込んでいただき、これからの子ども像について思いを馳せてみてください。



トンボ

資料点数 約 1,300 点

展示内容

I. 玩具と時代と子どもたち

明治時代以降、新たに成立した社会や文化の変化と密接にかかわる子どものありようの変化をイメージとして提示します。

II. 江戸時代の玩具

各地域の地理的・歴史的・文化的な文脈とかかわった玩具、子どもの健やかな誕生や成長への願いとかかわった玩具など、明治時代以降の玩具とは趣の異なる江戸時代の玩具と子どもを取り巻く社会のありようを紹介します。

II-1. 子どもの誕生と節句

II-2. 江戸時代の娯楽



五月人形大将鎧

III. 時代と玩具

明治時代以降、明治政府の主導で、全国一律の行政や教育などの諸制度の整備、海外からの新たな知識や技術の導入がおこなわれ、それによって社会は大きな変化を余儀なくされました。それにともなって、大きく変化した明治時代以降から第二次世界大戦にかけての子どもや玩具のありようを紹介します。

III-1. 新しい技術と玩具

III-2. 新しい仕事と玩具

III-3. 教育と玩具

III-4. 商品としての玩具

III-5. 外国と玩具 日本と玩具

III-6. 玩具の伝承と時代

III-7. 男の子の遊び 女の子の遊び

III-8. 世相や流行と玩具



福わらい



IV. 戦争と子どもと玩具

近代国家を目指す富国強兵の政策のなかで、近代的装備を備えた軍隊や兵器にかかる玩具が登場します。

こうした玩具は、戦争ごっこなど子どもたちの遊びに大きな影響を与える一方で、子どもたちの自由で想像力にあふれる豊かな遊びの世界が失われていきます。

- IV-1. 日清・日露戦争と玩具
- IV-2. 第一次世界大戦と玩具
- IV-3. 満州事変からの戦争と玩具
- IV-4. 戦争と子どもの本



戦艦「敷島」

V. 戦後の玩具と子ども

敗戦後の民主主義社会の到来や高度経済成長などをつけて生じた社会の変化とともに、大きく変化した玩具と子どもの暮らしを紹介します。

- V-1. 占領下の玩具
- V-2. アメリカへのあこがれ
- V-3. 新しい技術を用いた玩具
- V-4. 駄菓子屋の玩具
- V-5. マスメディアから生まれた玩具
- V-6. ファッションドールにみる流行史



キャデラック

VI. 遊び続ける子どもたち

これから子どもたちの遊びと玩具の関係性から想像される未来像や社会像について、おともども一緒に考える場です。

将来への期待や希望を、メッセージカードや伝言板に書き記してください。

- VI-1. 20年後の子どもたちへ
- VI-2. 未来への伝言板



関連イベント

みんぱくゼミナール

「教育玩具とその時代—子ども・おもちゃ・教育」

会 場 国立民族学博物館 セミナー室ほか

※メイン会場が満席の場合は中継会場をご案内します。

日 時 4月20日(土) 13:30~15:00

(13:00 開場)

講 師 是澤博昭(大妻女子大学 准教授)

笹原亮二(本館 教授)

参加方法 申込不要、参加無料

※参加券を12:30からインフォメーション前(本館1階)にて配布します。

内 容 本展は、子どもをめぐる社会の変遷をテーマのひとつにしています。ここでは近代教育の対象として、幼児を含む子ども全体を意識し始める過程を玩具から振り返ります。



教育玩具文明印刷遊

みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう

研究者が展示場に登場し、展示や研究についてお話しします。

「特別展「子ども／おもちゃの博覧会」を巡って」

会 場 国立民族学博物館 特別展示館

日 時 3月31日(日) 14:30~15:00

講 師 笹原亮二(本館 教授)

参加方法 申込不要、要展示観覧券

内 容 本展のねらいや構成、展示資料などについて紹介します。



自動車

「戦後のおもちゃ」

会 場 国立民族学博物館 特別展示館

日 時 4月14日(日) 14:30~15:00

講 師 日高真吾(本館 教授)

参加方法 申込不要、要展示観覧券

内 容 戦後のおもちゃは、敗戦後から、高度経済成長にかけて大きく変化した社会情勢に呼応するようにさまざまな形で展開していました。ここでは、戦後日本の社会の変化とおもちゃの変遷について解説します。



戦後日本のおもちゃで世界的に大ヒットしたフリクション玩具



ワークショップ「手づくりおもちゃ　張り子の絵付け」

会 場	国立民族学博物館 第3セミナー室
日 時	4月13日(土)、4月14日(日) 13:00~14:00、15:00~16:00
講 師	豊永盛人(琉球張り子作家、玩具ロードワークス代表) 笹原亮二(本館 教授)
定 員	各回20名
対 象	どなたでも(小学5年生未満は保護者同伴)
参加方法	要事前申込(応募者多数の場合は抽選) 参加費 500円 ※展示をご覧になる場合は、展示観覧券が必要です。
応募方法	申込フォームまたは往復ハガキでご応募ください。 ※応募期間:3月20日(水)~4月1日(月)
内 容	沖縄の張り子作家の豊永盛人さんを招き、張り子おもちゃの歴史やつくり方、沖縄の人びとと張り子のかかわりなどのお話を聞きながら、無地の張り子に絵付け体験を行います。

ワークショップ「きり絵で楽しむ日本の文様」

会 場	国立民族学博物館 エントランスホール
日 時	4月6日(土)11:00~11:40、12:00~12:40、13:00~13:40、14:00~14:40
定 員	各回先着12名
対 象	3歳以上(未就学児は保護者同伴)
参加方法	申込不要、参加無料
内 容	江戸時代から日本に伝わる「紋きりあそび」を折り紙で体験していただけます。 みんなくミュージアムパートナーズ(MMP)が企画・実施するワークショップです。

体験コーナー「いっしょにあそぼ！」・関連ワークショップ

会 場	国立民族学博物館 特別展示館
日 時	体験コーナーは、会期中、常時開設しています。 関連ワークショップは、別途開催します。 開催日時については、本館ホームページをご確認ください。
参加方法	申込不要、要展示観覧券
内 容	昔の遊びを体験できるコーナーがあります。 昔の遊びに関する関連ワークショップも随時開催します。



開催概要

展覧会名	特別展「子ども／おもちゃの博覧会」
会 場	国立民族学博物館 特別展示館
会 期	2019年3月21日(木・祝)～5月28日(火) ※会期中、資料保護のため一部展示替えを行います。
開館時間	10:00～17:00(入館は16:30まで)
休 館 日	水曜日(ただし、5月1日(水・祝)は開館)
観 覧 料	一般 420円(350円) 高校・大学生 250円(200円) 中学生以下 無料 ※本館展示もご覧いただけます。 *()内は、20名以上の団体、大学等(短大・大学・大学院・専修学校の専門課程)の授業での利用、リピーター、満65歳以上の方の場合の料金。
主 催	国立民族学博物館
企画協力	一般財団法人日本玩具文化財団
協 力	大妻女子大学、一般財団法人千里文化財団、総合地球環境学研究所

実行委員長 笹原亮二(国立民族学博物館 教授)

専門は民俗学、民俗芸能研究。日本の獅子舞の歴史と分布、日本の民俗芸能の近代から現代における伝承について研究している。著書に『三匹獅子舞の研究』(2003年、思文閣出版)、共編著に『造り物の文化史—歴史・民俗・多様性』(2014年、勉誠出版)・『ハレのかたち—造り物の歴史と民俗』(2014年、岩田書院)などがある。



特別展「子ども／おもちゃの博覧会」広報用画像リスト



【1】特別展ポスター



【2】自動車



【3】絵本に描かれた「あじあ号」



【4】福わらい



【5】戦艦「敷島」



【6】キャデラック



【7】トンボ



【8】ハシゴ車

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、総務課広報係まで次頁申込用紙にてお申し込みください。

資料名につきましては、展示場での表記と異なる場合がございます。



特別展「子ども／おもちゃの博覧会」広報用画像利用申込用紙

【ご希望の画像番号】

【貴社・貴機関について】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
所在地 〒	
電話番号	E-mail
ご掲載・放映の予定日	年 月 日

【プレゼント用招待券】（ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください）

 3組6枚 5組10枚

※発送は2月下旬以降を予定しております。

※チケット発送先が上記所在地と異なる場合は、下記にご記入ください。

【申込先】

■ メール koho@minpaku.ac.jp または ■ FAX 06-6875-0401

【広報に関するお願い】

■ 写真使用に関するお願い、注意事項

・クレジットには次のとおり記載してください。

【2】～【8】国立民族学博物館蔵

・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。

・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

■ 本館の基本情報等の確認のため、メールまたはFAXにて、掲載記事、番組内容の原稿等を下記連絡先までお送り願います。

■ お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。